



第6学年 総合的な学習の時間 学習計画案

皆川 寛

【実践時期】

平成12年度1学期

1. 学年部研究主題

身近な問題を自分と関係付けてとらえ，進んで働きかける児童の育成

2. 児童の実態

学校周辺の環境で「気になっていること」として，11人の児童が「ごみの多さ」を挙げ，「川や用水路の水の汚れ」，「車の排気ガス」と答えた児童もいた。

与えられた課題に対しては意欲的に取り組むが，自ら課題を設定する力に欠ける。

コンピュータを利用した学習を好み，ワープロを使ってレポートを作成したり，インターネットを活用して資料を収集したりすることができる。また，電子メールを利用した地域間交流を進めている。

3. 単元目標

身近な地域の環境に関心をもち，地域散策や地域清掃活動での体験や収集した情報などをもとに，環境問題について訴えたいことを自分なりに表現することができるようにする。

単元名 「みろくクリーン作戦」

4. 単元について

豊かで便利な生活を追い求めて，我々は今日の生活様式を作りあげてきた。その便利さや豊かさを当たり前のように感じて，さらに便利さや豊かさを享受しようとしている。しかし，こうした消費生活が生活排水による水質汚濁，騒音問題，ごみ処理問題，さらには自然環境の破壊を引き起こす原因となっている。環境についての問題意識を高めることは，これから社会を担っていく立場になる児童にとって重要なことであると思われる。

当校では，春と秋の年2回，全校児童による地域清掃活動が行われている。この活動での体験や地域散策を通して，身近な自然に対する問題意識が高まってきている。地域での環境調査や取材活動，さらにはインターネットを活用した地域間交流を通して，よりよい地域環境のために自分たちができることを考えさせることができる。



5. 計画の着眼(学年部の重点との関連)

(1)探求心を持続させる単元展開の工夫

地域清掃活動や地域散策を通して、身近な環境問題に関心をもたせ、課題を設定する。
 北上川や用水路の水質調査、給食センターや生協などへの取材活動、各家庭へのアンケート調査等を取り入れることにより、地域や地域住民とのコミュニケーションを大切にする。
 インターネットを利用した地域間交流を通して、より広い視野で自分の地域を見つめさせる。
 校内や地域で、調査結果や自分なりの考えを提案する活動を通して、自分が住む地域をより良くしようとする意識を高める。

(2)学習成果を自覚・集積していくための自己評価の工夫

振り返りカードを活用し、一人一人の思いや願いを把握し、児童の学習活動にフィードバックさせる。
 学習課題への取り組みの経緯や成果をファイルにまとめ、自己評価に生かす。

6. 学習活動計画(全17時間)

段階	時間	児童の活動	育てたい力	教師の支援・留意点
課題設定	1	地域清掃活動に参加し、学区内に捨てられているごみの様子を知る。	課題を発見する力	自分自身の日常生活を振り返らせ、地域の環境に対する意識を高めさせる。
	2	「地域の環境」をテーマにして地域を散策し、感じたことをまとめる。		環境についての意識を把握するために、レポートを作成させる。
課題設定	2	ビデオを視聴し、環境問題についての理解を深める。(1)	課題を発見する力	課題発見の支援として、映像メディアを活用する。
		自分の興味・関心を生かし、地域の環境について調べたいことをまとめ、学習計画を立てる。(1)		計画立案にあたっては、校外での取材・調査活動を積極的に取り入れるように助言する。
課題追究	5	地域の環境について調べ、調査結果をまとめる。 空気の汚れ」調査グループ 生ごみの再利用」調査グループ 「リサイクル」調査グループ 生活排水の水質」調査グループ	問題解決能力 (判断力) (行動力)	取材・調査活動にあたっては、十分な事前指導を行い、安全面に配慮する。 調査結果は、発表用資料として随時パソコンに入力させる。



発表・提案	4 (本時)	調査をしてわかったことや自分なりの考えをわかりやすく表現する。 中間発表 - <u>学級</u> で(本時) - 校内で - 地域で インターネットで情報発信	情報活用の実践力 (表現力) (思考力)	調査結果の報告だけでなく、「こうすればもっと住み良い環境になるよ」という独自の提案を盛り込ませるようにする。
情報交流	2	インターネットを活用し、交流校と調査結果について話し合ったり、比較したりする。	コミュニケーション能力	地域間の交流を通して、自分の地域の環境についてより広い視野でとらえさせる。
まとめ	1	学習成果を共有し、学習をまとめる。	実践への意欲	一人一人の活動について、努力した点、工夫した点を賞賛する。

7.単元の評価

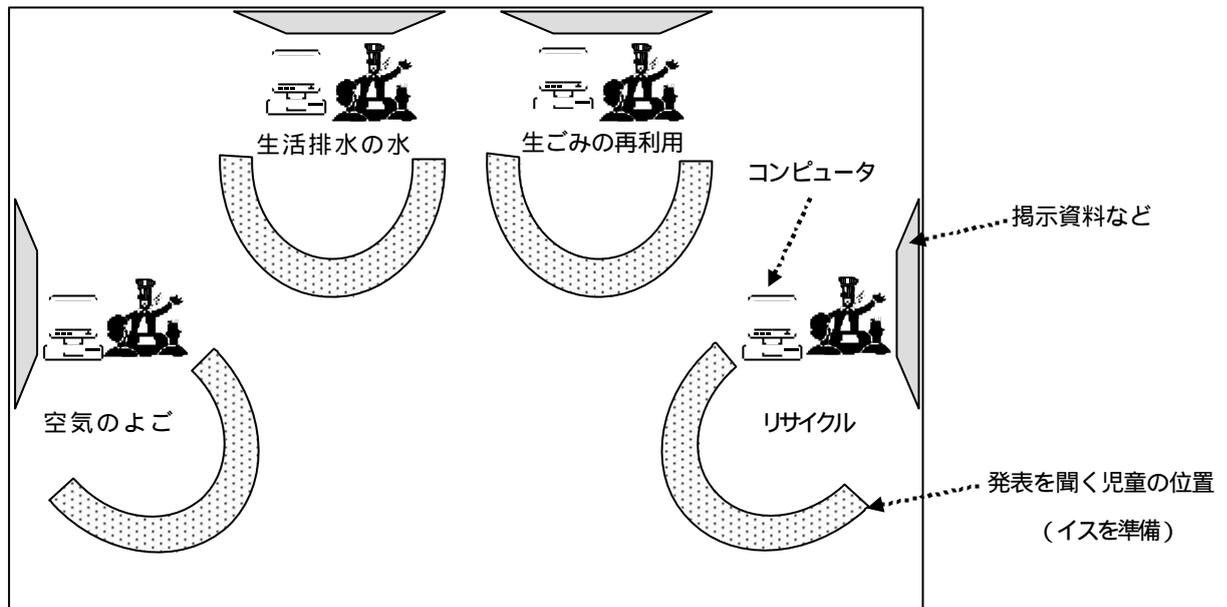
- (1)身近な地域の環境問題に関心をもち、自分なりの課題を発見することができたか。(課題を発見する力)
- (2)文献資料やコンピュータなどを活用したり、既習の学習内容などを関連づけたりしながら、自分にあった解決方法で課題を追究することができたか。(問題解決能力)
- (3)調査結果をもとに自分なりの考えや思いをわかりやすくまとめることができたか。(情報活用の実践力)
- (4)調査結果や自分なりの考えを広く提案する活動を通して、自分が住む地域をより良くしようとする意識を高めることができたか。(実践への意欲)

8.本時の学習計画

- (1) 題材名 「みろくグリーン作戦」学年発表会
- (2) 学習目標
 地域の環境について調べたことを工夫してわかりやすく発表する。(表現力)
 発表したり、聞いたり、話し合ったりすることを通して、地域の環境についての自分の思いや考えを深める。(思考力)
- (3) 準備物 コンピュータ4台、「わたしの情報ファイル」、ワークシート006、振り返りカード
 コンピュータマイクロスコープ、発表で紹介するもの(調査グッズなど)



(4) 場の設定



(5) 教師の願い

	調査内容	教師の願い
1	生活排水の水質	他のグループの発表をしっかりと聞き、自分なりの考えをもたせたい
2	生活排水の水質	ユニークな発想を生かし、自分なりの考えを進んで提案させたい。
3	生活排水の水質	自分が感じたことを、進んで発表させたい。
4	リサイクル	他のグループの意見も参考にしながら、考えを深めさせたい。
5	リサイクル	自分の考えに自信をもたせ、生き生きと表現させたい。
6	空気のごよご	よい考えを進んで発表し、活動をリードさせたい。
7	空気のごよご	鋭い視点で地域を見つめているので、学級としての提案を考えさせたい。
8	生ごみの再利用	残り野菜を使った料理について分かりやすく説明させたい。
9	生ごみの再利用	実物(生ごみから作った堆肥)などを使った表現を工夫させたい。
10	空気のごよご	自分なりの考えに自信をもって、生き生きと表現させたい。
11	生ごみの再利用	パソコンの操作に慣れているので、進んで表現活動に取り組ませたい。
12	リサイクル	アンケート調査で分かったことを分かりやすく説明させたい。
13	生活排水の水質	「自分たちにできること」を自信をもって提案させたい。
14	リサイクル	発表内容に自信をもって、生き生きと活動させたい。



(6) 学習過程

児童の活動	支援と評価	備考
<p>1. 本時の活動内容を確認する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">学級発表会をしよう</p> <p>発表の聞き方を確認する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">発表内容に対して自分なりの感想をもち、分からないところを質問したり、自分の考えを発表したりする</p>	<p>調べたことをみんなに分かるように伝えたい」とい願いをもって発表会に望むようにさせる。</p> <p>各グループの提案内容をしっかり聞き、上沼の環境について「学級全体としての提案」ができるように、適宜声をかける。</p>	<p>ワークシート</p>
<p>2. コンピュータや掲示資料を使って発表し、その内容について話し合う グループごとに発表を始める。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">空気のごれ</p> 調査グループ(20分) <p style="text-align: center;">話し合い</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">生活排水の水質</p> 調査グループ(20分) <p style="text-align: center;">話し合い</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">生ごみの再利用</p> 調査グループ(20分) <p style="text-align: center;">話し合い</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">リサイクル</p> 調査グループ(20分) <p style="text-align: center;">話し合い</p> <p>3. 各グループの提案を自分なりにまとめ、これからの地域の環境について話し合う 自分なりの考えを発表する。</p>	<p>各グループの発表後に、「全校発表では、ここをぜひ伝えたい」中間発表会とくらべて、ここが分かりやすくなった」という観点で話し合いをさせる。</p> <p>各グループの提案内容を比較することで、共通点や類似点に気付かせ、自分なりの考えを入れて発表させたい。</p> <p>発表後に補足説明が必要な場合は、教師が適切な支援をする。</p> <p>全体発表会に向け、学級全体としてどんなことを提案できるかを話し合わせる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">評価</p> - 発表, 表情, 記録	<p>コンピュータ モニター 掲示資料</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">使用するソフト</p> PowerPoint2000 Dr. シンプラー PC用の顕微鏡 <p>ワークシート</p>
<p>4. 本時の活動を振り返り、校内発表への意欲をもつ。 振り返りカードに記入する。</p>	<p>交流校からのメールを紹介し、校内発表や情報交流への意欲を高める。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">評価</p> - 発表, 記録	<p>振り返りカード</p>

(7) 評価

地域の環境について調べたことを工夫してわかりやすく発表したかを発表の様子や振り返りカードから評価する(表現力)

発表したり、聞いたり、話し合ったりすることを通して、地域の環境についての自分の思いや考えを深めることができたかを表情や振り返りカードから評価する。(思考力)